

2002年6月期第2Q決算と 経営戦略の転換について

2002年2月15日

株式会社インターネット総合研究所
代表取締役 藤原 洋



1. 2002年6月期第2Q実績

部門別売上推移（連結）



		2000/6	00/9	00/12	01/3	01/6	2001/6	01/9	01/12
			1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q
【売上】									
IPネットワーク事業	百万円	1137	234	267	259	312	1,073	392	357
前年比	%						-5.6%	67.5%	33.7%
IPプラットフォーム事業	百万円	0	0	0	0	1,044	1,044	1,162	1,395
前年比	%								
その他事業	百万円	0	0	3	10	46	59	10	13
前年比	%								333.3%
合計	百万円	1,137	234	271	269	1,403	2,177	1,565	1,764
前年比	%						91.5%	568.7%	551.1%

IPネットワーク事業: IPネットワークのコンサル・設計事業は納期が下期に偏る見込みから1Q 268百万円 2Q 255百万円と伸び悩みだが、IPネットワークの24時間監視・運用・保守事業が順調拡大、またブロードバンド情報専門ポータル「RBB TODAY」(www.rbbtoday.com)が寄与

IPプラットフォーム事業: 液晶プロジェクタ用PCインターフェース、モバイル通信システム関連が好調

その他事業: ブロードバンドエクステンジ(BBX)サービスは2002年2月サービスインで、売上はまだ小さい

P/L (連結) の推移 (1)



		2000/6	00/9	00/12	01/3	01/6	2001/6	01/9	01/12
			1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q
売上高	百万円	1,137	235	270	269	1,403	2,177	1,565	1,764
	前年比 %	56.7%	64.1%	-10.3%	65.9%	164.5%	91.5%	566.8%	553.3%
売上原価	百万円	593	119	176	154	1,080	1,528	1,168	1,395
	前年比 %	55.1%	22.0%	-33.4%	27.0%	880.1%	157.7%	885.7%	692.2%
	原価率 %	52.2%	50.5%	65.2%	57.3%	76.9%	70.2%	74.6%	79.0%
売上総利益	百万円	544	116	94	115	324	649	397	370
	前年比 %	58.5%	152.6%	155.9%	181.5%	-23.0%	19.3%	241.4%	293.4%
	利益率 %	47.8%	49.5%	34.8%	42.7%	23.1%	29.8%	25.4%	21.0%
販管費	百万円	494	166	198	225	529	1,118	591	683
	前年比 %	82.0%	45.3%	36.8%	66.5%	431.6%	126.5%	256.2%	244.8%
	対売上比率 %	43.4%	70.7%	73.4%	83.4%	37.7%	51.4%	37.8%	38.7%
営業利益	百万円	50	-50	-104	-110	-206	-469	-195	-313
	前年比 %	-30.3%					-1036.3%		
	利益率 %	4.4%	-21.2%	-38.5%	-40.7%	-14.7%	-21.6%	-12.4%	-17.7%

売上総利益: IPネットワークのコンサル・設計事業は納期が下期に偏るため、一時的だが減少。IPネットワークの監視・運用・保守事業やIPプラットフォーム事業は順調に拡大

販管費: 連結調整勘定の1年償却の1/4相当分155百万円計上、1Q 2Qにかけての主たる増加分はBBXの拡大による

営業利益: 連結調整勘定償却除くと、1Q 40百万円 2Q 158百万円

P/L (連結) の推移 (2)



		2000/6	00/9	00/12	01/3	01/6	2001/6	01/9	01/12		
			1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q		
営業外収益	百万円	11	4	9	11	12	36	4	3		
営業外費用	百万円	32	40	115	55	115	325	671	779		
経常利益	百万円	29	-85	-210	-154	-309	-758	-862	-1,089		
	前年比	%									
	利益率	%	-53.7%	-36.4%	-77.7%	-57.2%	-22.0%	-2675.4%	-34.8%	-55.1%	-61.7%
特別利益	百万円	0	0	29	0	4	33	0	3		
特別損失	百万円	25	0	10	0	82	92	74	38		
税引前利益	百万円	5	-85	-191	-154	-387	-817	-936	-1,124		
	前年比	%									
		%	-92.9%	22.7%	46.4%	65.8%	-229.9%	-18064.0%	996.8%	487.8%	
法人税住民税	百万円	31	1	2	10	35	49	51	42		
	実効税率	%	688.0%	-1.2%	-1.3%	-6.8%	-9.1%	-6.0%	-5.4%	-3.7%	
法人税等調整額		-22	0	37	0	-15	22	13	-7		
少数株主損失				2	3	13	17	15	69		
当期利益	百万円	-5	-87	-228	-162	-309	-871	-984	-1,090		
	前年比	%									
	利益率	%	-128.4%	-37.0%	-84.6%	-60.0%	-22.0%	17525.5%	-40.0%	-62.9%	-61.8%

営業外費用：投資消去差額の1年償却の1/4相当分 626百万円計上、残りの大半は持分法適用会社の損失

経常利益：連結調整勘定償却と投資消去差額償却を除くと、2002.1Q 81百万円 2Q 308百万円。

特別損失：投資有価証券の評価損計上

B/S (連結) の推移 (資産の部)



(百万円)	00/12	01/3	01/6	01/9	01/12
流動資産	8338	5454	5456	6714	7230
現預金	4298	3124	2790	4063	3676
受取手形及び売掛金	208	1464	1709	1615	1776
有価証券	3803	314	313	314	1011
棚卸資産		508	529	629	652
貸倒引当金	0	-3	-3	-3	-4
その他	29	49	118	97	118
固定資産	3019	7646	7517	6805	5890
有形固定資産	47	134	160	183	249
無形固定資産	9	637	474	319	169
連結調整勘定		625	462	308	157
その他		12	12	12	12
投資その他資産	2964	6874	6883	6233	5472
投資有価証券	1069	2169	2383	2397	2685
関係会社株式	710	3381	3139	2487	1759
出資金	1069	1068	1042	1026	571
貸倒引当金					-71
その他	115	257	319	290	527
繰延資産	0	0	0	0	0
資産合計	11358	13101	12973	13450	13120

手元流動性: 現預金 + 短期有価証券 2001.1Q 4377百万円 2Q 4687百万円

棚卸資産: タウ技研の原材料中心

投資有価証券: 主にはパソナ 1272百万円、グローバルセンター・ジャパン 341百万円

関係会社株式: 主たる減少はパソナテック株式の償却による

貸倒引当金: 特定の営業債権に対する保守的処理

B/S (連結) の推移 (負債の部)



(百万円)	00/12	01/3	01/6	01/9	01/12
流動負債	76	1796	1939	1906	2325
支払手形及び買掛金	25	1104	1184	1148	1342
短期借入金	0	434	434	474	542
賞与引当金		43	25	48	29
その他	51	215	297	236	412
固定負債	0	88	85	89	234
退職給付引当金		63	69	70	72
その他		10	10	12	162
負債合計	76	1884	2024	1984	2558
少数株主持分	85	172	267	1759	1692
資本金	2050	2050	2050	2050	2081
資本準備金	9421	9421	9421	9421	9452
剰余金	-283	-445	-807	-1791	-2881
その他有価証券評価差額金				13	196
為替換算調整勘定	9	18	18	14	22
資本合計	11197	11044	10682	9707	8870
負債・資本合計	11358	13101	12973	13450	13120

支払手形及び買掛金: タウ技研分が大半

短期借入金: タウ技研分、他社はゼロ

少数株主持分: BBXにおけるNEC、松下電器ほかの持分

その他有価証券評価差額金: 主にはパソナ株式の評価益

2. GCTRの買収とビジネス モデルの転換

「技術支援会社」から
「総合IPネットワーク・サービス・プロバイダー」へ

買収のスケジュール

2002年3月中旬	欠損填補のための減資を行い、累損一掃 (資本額2,609百万円 162百万円)
3月末	株主割当増資 (585株をIRIが引受)
3月末	第三者割当増資 (6,118株をIRIが引受)
3月末	AGCの持株一部 (820株をIRIが引受)

総額 約822百万円

異動後の株主構成(2002年3月末)

株式会社インターネット総合研究所	67.58%
アジア・グローバル・クロッシング・リミテッド	16.77%
ソフトバンク ネットワークス株式会社	15.65%

(現状)

- 価格競争激化の中、ネットワークやサービスの信頼性・安定性を武器に、小規模ながらも顧客から高い評価
- 大型の受注案件2件( ) に成功

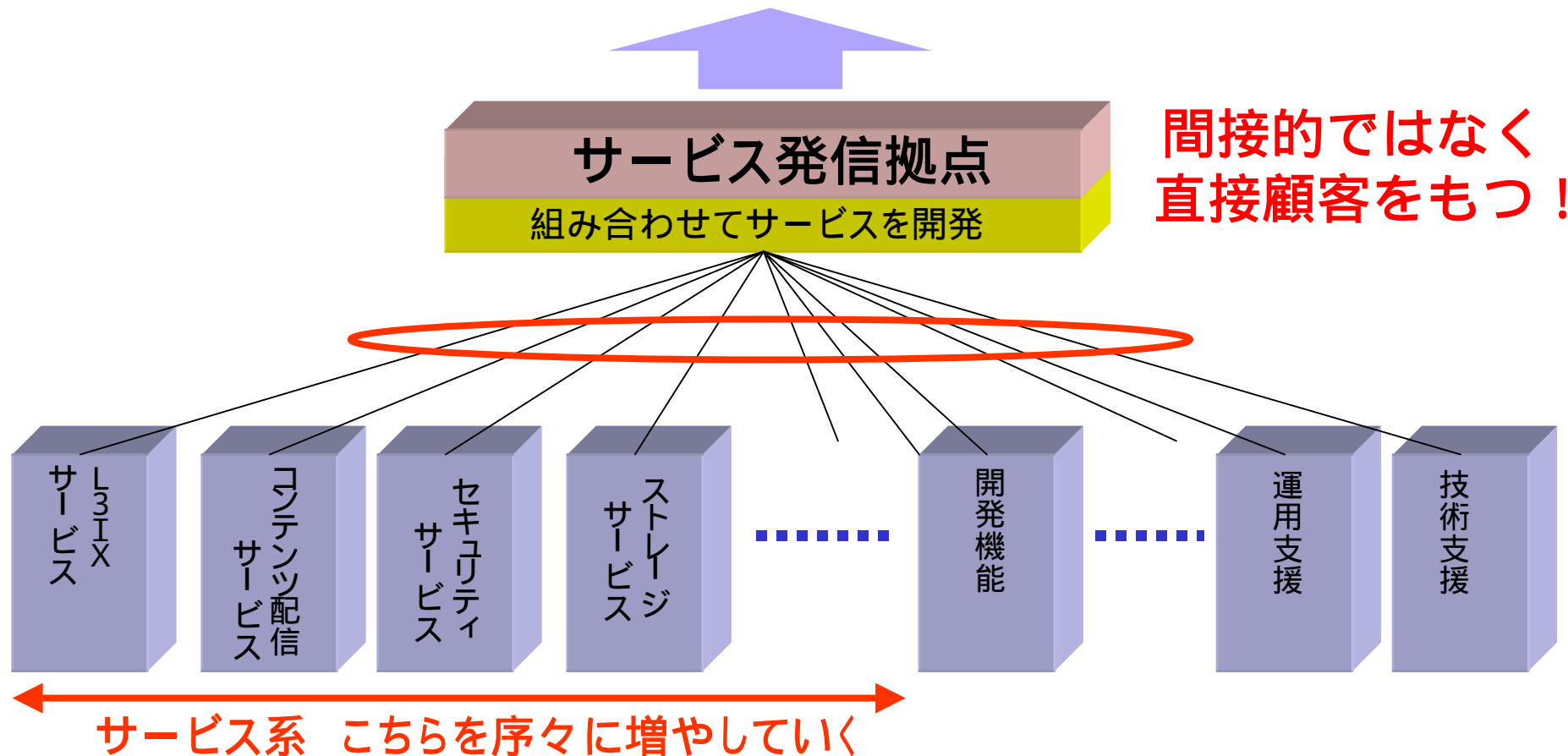
(今後)

- ナローバンド時代のデータセンタ事業から、ブロードバンド対応のコンテンツ発信拠点事業へと事業構造を転換する
- 更なる有名BBコンテンツ(大容量のトラフィックサーバー)の誘致とサービスメニューの強化に注力
- IRIグループシナジーの戦略的集約拠点

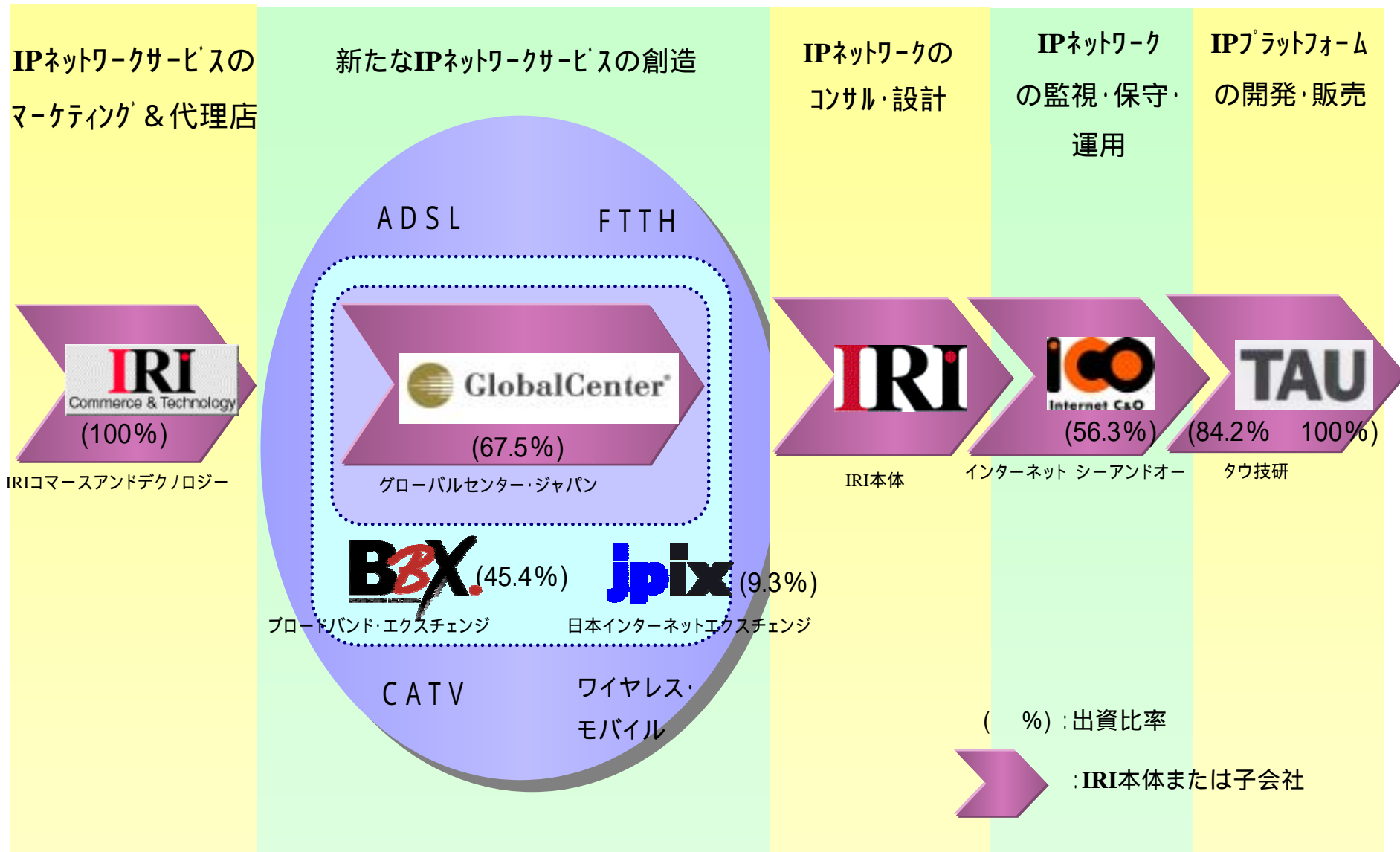
GCTRを中心としたサービスビジネスモデルへ **IRI**

- IRIグループが持つIP技術を「サービス商品」として発信することにより、新しいビジネスモデルを構築する

顧客【通信事業者、コンテンツ事業者、放送事業者】



グループ連携による、一気通貫のサービス提供




	(単位:百万円)		
	2000年12月期[実績] (H12/2/9 ~ H12/12/31)	2001年12月期[実績] (H13/1/1 ~ H13/12/31)	2002年12月期[予想] (H14/1/1 ~ H14/12/31)
売上高	217	754	1,302
営業利益	800	1,366	955
経常利益	818	1,277	998
当期利益	819	1,288	1020
純資産	1,680	611	290
1株当たり当期利益(千円)	163	237	84


上記、GCTRの2002年12月期予想は、現状の事業構造による営業赤字を直接的に、保守的予想数値として取り込んでいる。


GCTRは、2002年末～2003年初にかけて月次ベース営業黒字転換を計画。要因は、


- (1) ナローバンド時代のデータセンター事業から
ブロードバンド対応のコンテンツ発信拠点
事業へと事業構造を転換すること、
- (2) コスト削減


 GlobalCenter* **BBコンテンツ発信サービス拠点**

 監視主体からBGP4を含むIPネットワーク運用事業体制の確立(代理店機能)

 GCTR顧客へのメトロポリタンエリア接続サービスの提供(相互代理店)

 GCTR顧客へのWebシステム構築支援事業の強化(代理店機能の強化)

 GCTRを中心としたBBコンテンツ供給事業の強化(相互代理店)

 家電・産業 / 交通などユビキタス分野の顧客開拓と事業連携(代理店機能)

IRIは、総合IPネットワーク・サービスプロバイダーへ

IRI

「コンサルティング会社」「技術支援会社」から脱皮し、

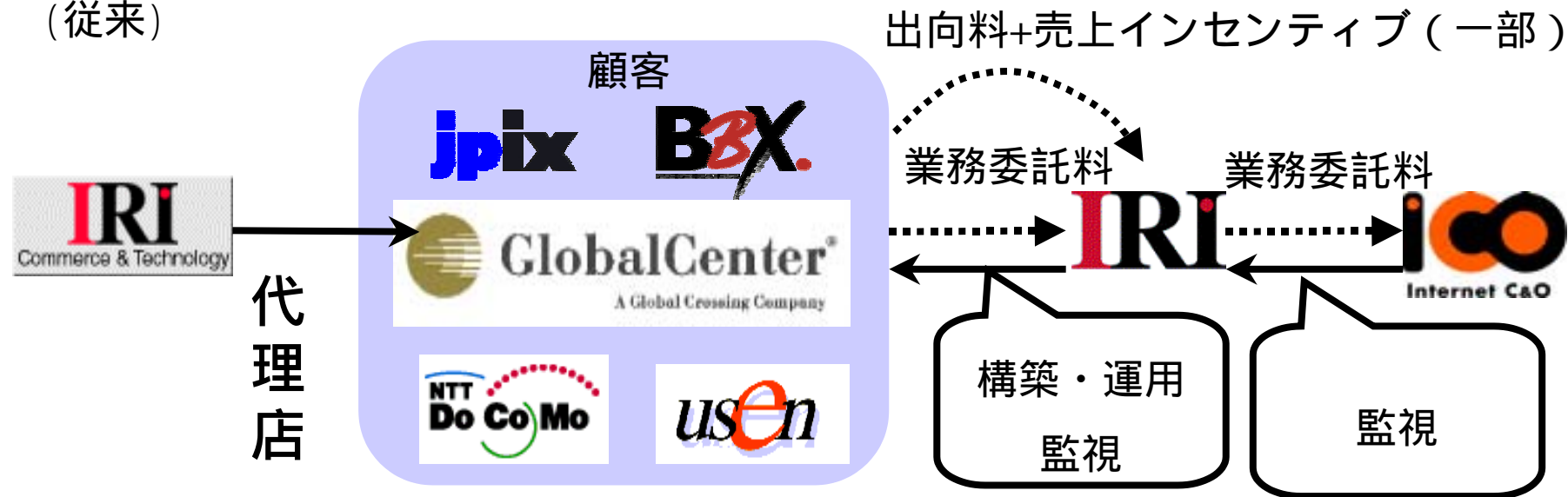


「総合IPネットワーク・サービスプロバイダー」になる！

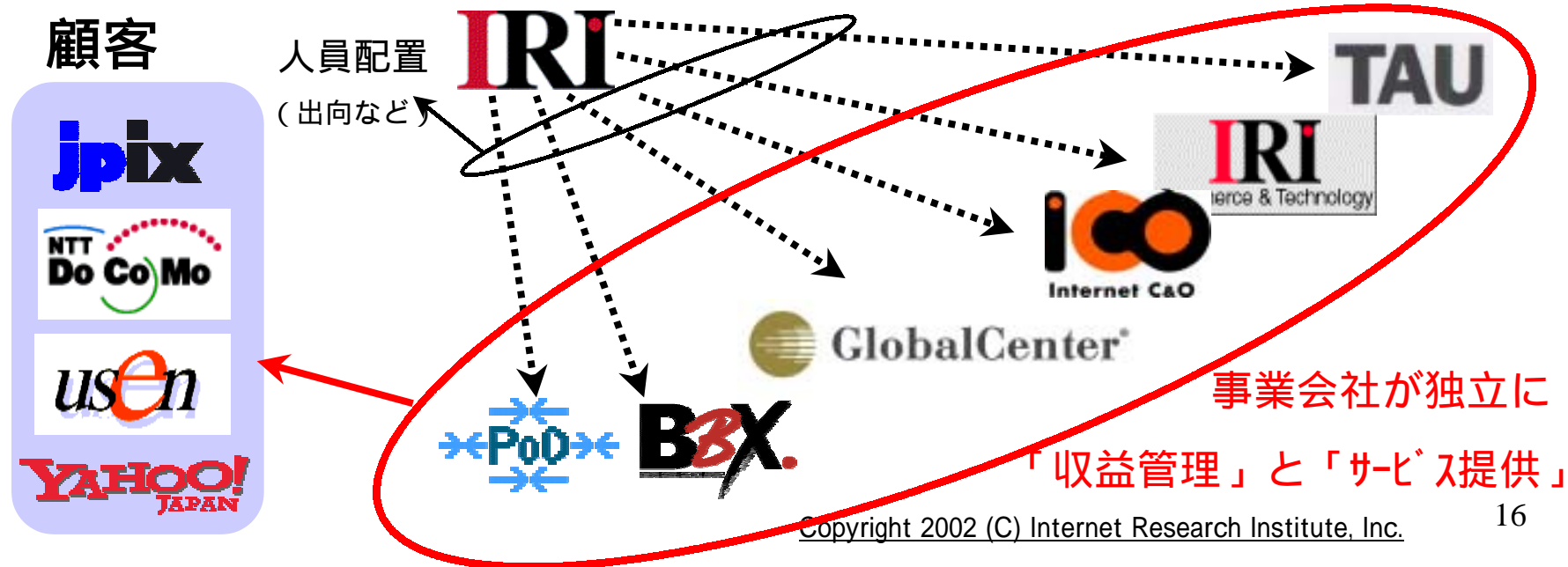


何が変わるのか？（まとめ）

（従来）



（今後）



主要な連結子会社と持分法適用会社



主要な連結子会社

グローバルセンター・ジャパン(株) 注) GCTRIは2002年3月末より連結対象子会社	インターネットデータセンター(iDC)事業。IRIがシステム設計・構築・運用を100%受託。	67.5%
(株)ブロードバンド・エクスチェンジ	ISPやCSPのためのブロードバンドインフラ及び流通支援事業。	45.4%
(株)インターネットC&O	ネットワークの監視・運用・保守サービスを、24時間365日体制で提供。	56.3%
IRI C&T	メディアマーケティング(日本最大のブロードバンド情報専門サイトの運営)と代理店	100.0%
タウ技研(株)	画像・映像信号処理技術を得意とする、ファブレス(無工場)メーカー。	100%予定

主要な持分法適用関連会社

会社名	事業内容	出資比率
(株)プロデュース・オン・デマンド	通信と放送の融合を目指した、次世代放送システムの研究・開発および構築。	25.4%
モバイル・インターネットキャピタル(株)	モバイル及びインターネット関連にフォーカスした、ベンチャーキャピタル。	35.7%
(株)パソナテック	ITスタッフ登録数で日本最大規模の、IT技術者の派遣・紹介企業。	25.5%

事業の選択と集中を推進中。シナジー効果の薄い事業や低採算の事業から撤退し、より効果的な事業への集中を行う。

3. 2002/6通期の連結部門別の計画

部門別売上計画（連結）



		2000/6	2001/6	2002/6 計画
[売上]				
IPネットワーク事業	百万円	1137	1,073	2,580
前年比	%		-5.6%	140.4%
IPプラットフォーム事業	百万円	0	1,044	5,100
前年比	%			388.5%
その他事業	百万円	0	59	70
前年比	%			18.6%
合計	百万円	1,137	2,177	7,750
前年比	%		91.5%	256.0%

【IPネットワーク事業】コンサル・設計事業は当初計画に対し未達の見込みだが、監視・運用・保守事業の収益は好調見込む

【IPプラットフォーム事業】順調に拡大する計画

【その他事業】連結対象子会社の株式会社ブロードバンド・エクスチェンジ(BBX)の収益はほぼ計画通りに推移する見込み

ネットワーク監視・運用・保守事業 2002 / 3期は大幅増収増益の計画

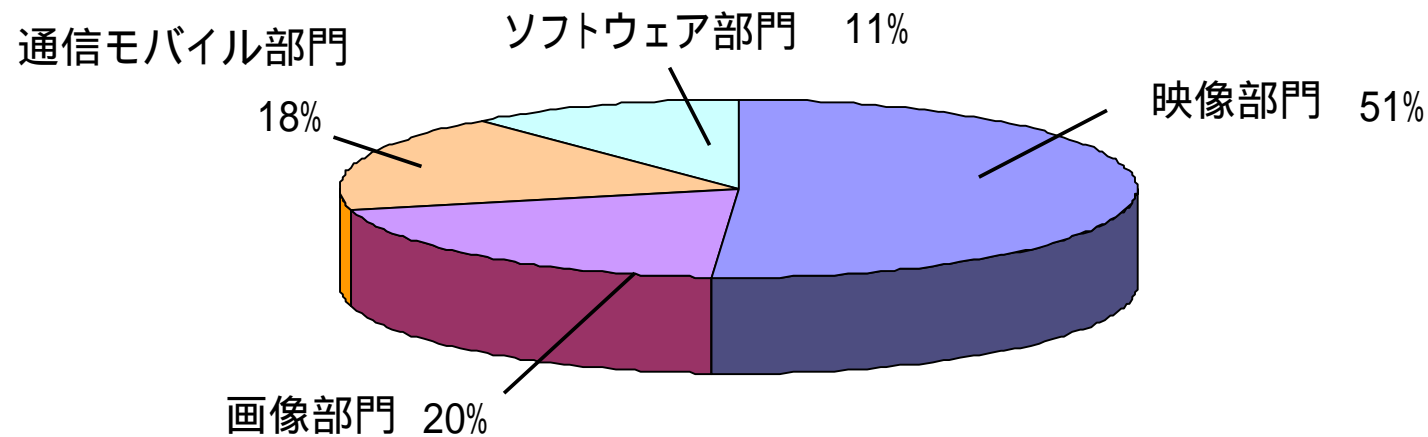
- 2002/3期計画：

売上	前回600百万円	今回685百万円
営業利益	前回 90百万円	今回115百万円

業績好調見込む主な要因

- 監視運用事業の堅調に加え、システム開発案件の受注が好調

2002年6月期売上内訳計画



業績拡大見込みの主な要因

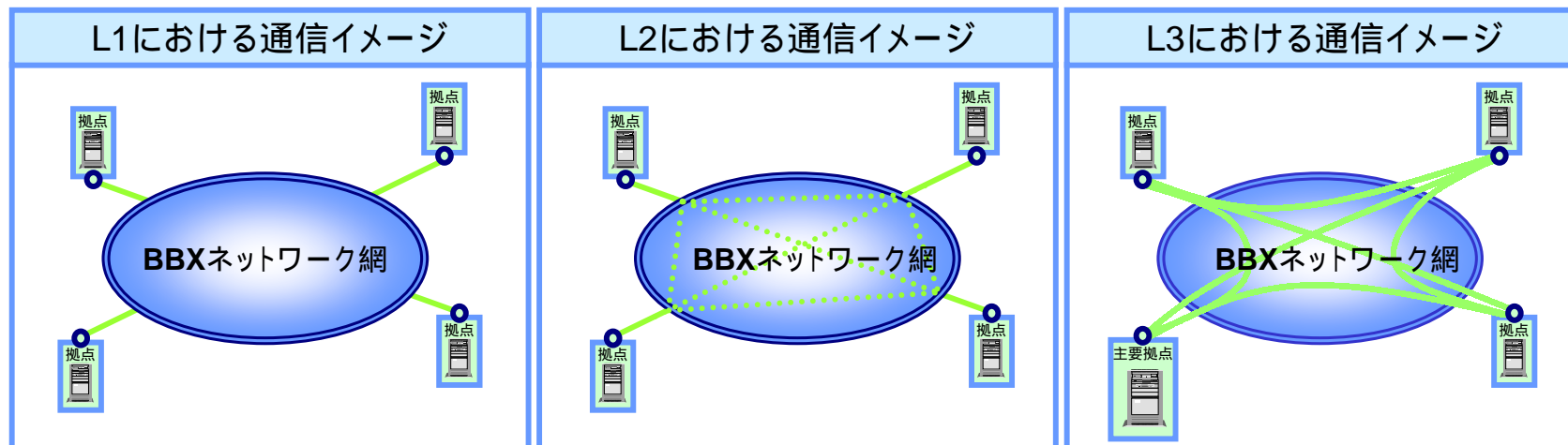
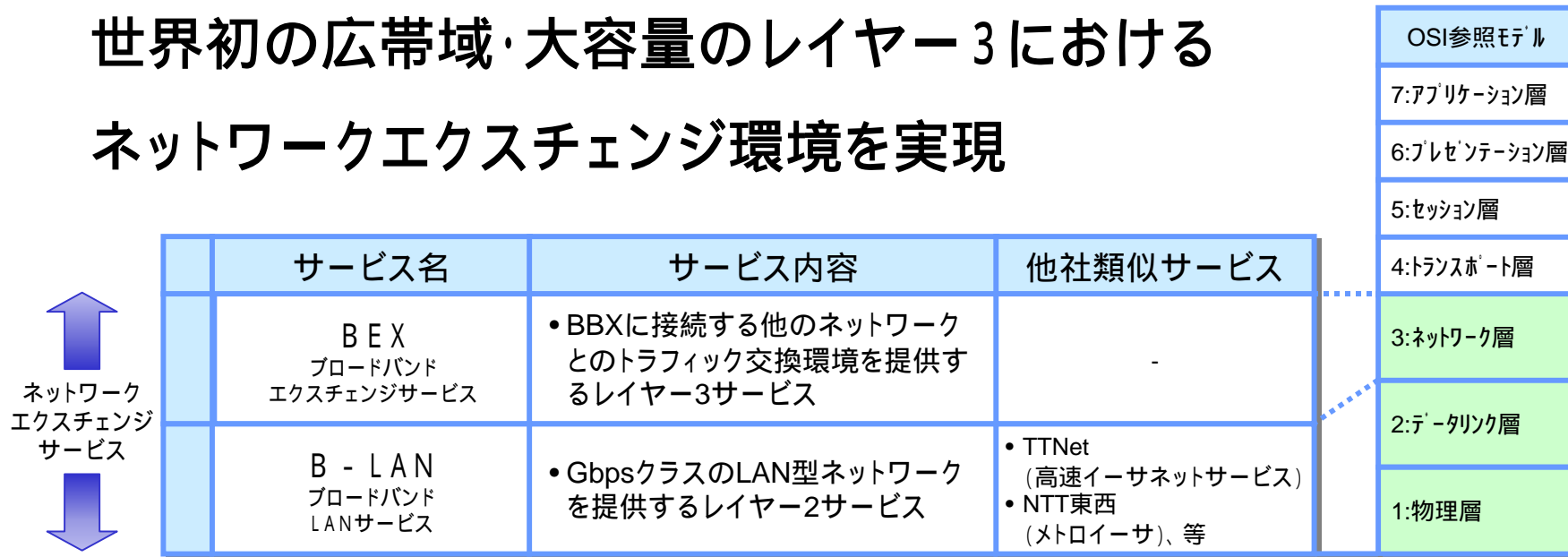
- ・ 電子機器(画像部門、特に液晶プロジェクタ用PCインターフェース)の拡大を計画
- ・ 主にJフォン向けの通信モバイル部門(携帯電話新機種評価業務)の拡大を計画

【その他事業】BBXがサービス開始



株式会社ブロードバンド・エクスチェンジ

世界初の広帯域・大容量のレイヤー3における ネットワークエクスチェンジ環境を実現



サービス概要：概念図 (OSIレイヤーモデル)

- (1) サービス提供エリア: 東京都23区内 (順次拡大予定)
- (2) 収容局: 大手町、赤坂、豊洲、池袋 (品川、新宿: 2002年3月より予定)

(3) サービス料金概要 (月額利用料)

1 Gbps

収容局接続: 170万円

加入者接続 (収容局からファイバー長5km以内): 200万円

100Mbps

収容局接続: 65万円

加入者接続 (収容局からファイバー長5km以内): 75万円

ISPパートナー

日本電気株式会社 / BIGLOBE、
松下電器産業株式会社 / Panasonic hi-ho

iDCパートナー

グローバルセンター・ジャパン株式会社
株式会社アット東京 / @Tokyo
リーチ・ネットワークス株式会社
メディアエクスチェンジ株式会社
エム・エフ・エヌ ジャパン株式会社 / MFN

マーケティング・販売パートナー

住友商事株式会社、NTTデータ株式会社、
エクストリームネットワークス株式会社